

令和2年度のおおたウエルカムボランティア事業の取組状況について

大会開催の延期及び新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、今年度は基本的にボランティア活動や研修は行わないが、大会時に万全の態勢で「おもてなし」ができるよう、ボランティアのモチベーションを維持する取り組みを行っている。

1 ボランティア登録者数

[3月末時点] 505名（うち高校生ボランティア 53名）

[9月末現在] 465名（うち高校生ボランティア 49名）

2 これまでの取組

(1) メールでの情報提供（メルマガ配信）

7月から月2回程度、大会情報やボランティアの心構え、ユニバーサルデザインの考え方及び障がい者の対応など、活動に役立つ情報をメールで配信している。一般的な知識に加え、昨年の活動の様子を伝えながら、実践的な声掛けのフレーズやポイントを紹介しているほか、マップで使用されるピクトグラムをクイズ形式で紹介するなど工夫を凝らしている。また、大会に向けた気運を高められるよう、コロナ禍で大会出場を目指し頑張っている区ゆかりの選手の情報も提供している。

(2) ボランティアへのインタビュー

3分野（観光、スポーツ、国際交流）のボランティア（高校生含め8名）に取材し、応募動機やこれまでのボランティア経験のほか、昨年の活動を踏まえた成果や課題、ボランティア同士の交流、延期決定後の独自の取組など貴重な話を聞くことができた。その内容をメルマガに掲載し他のボランティアにも紹介している。



インタビューの様子



高校生ボランティア

3 今後の予定

○ブラジル選手の応援動画の作成

10月からは新たに、大会に向け練習に励んでいるブラジル選手に向けて、ボランティアを中心とした応援メッセージ動画作成し、ブラジルオリンピック委員会を介して選手たちに届ける。